インド四月大豆粕輸出量一、四四二トンと引き続き低水準

インド搾油協会が発表した四月のミール輸出統計によると、四月のミール全体の輸出量は五万四、三九〇トンで前年同月比七〇％の減少となっている。そのうち、大豆粕の輸出量は一、四四二トンで前年同月の一万八、〇一七トンに比べて九二％の減少となった。仕向先では、日本向けはゼロで、インドネシア向け九七四トン、クウェート向け四〇四トンなど。一方、菜種粕の輸出量も一万四、一六三トンで同六万九、三九八トンに比べて八〇％の減少で、仕向先では日本向けは五四二トン、韓国向け一万〇、三〇二トン、台湾向け二、〇二一トンなど。

また、四月のトン当たり平均輸出価格（ＦＯＢ）では、大豆粕は四九三ドルと前月の四八〇ドルに比べて二・七％の上昇で、前年同月の五一五ドルに比べて四・三％の下落、菜種粕は二五七ドルと前月の二四七ドルに比べて四・〇％の上昇で、前年同月の二七一ドルに比べると五・二％の下落となった。大豆粕、菜種粕とも割高な状況が続いており、特に大豆明粕ではロッテルダム相場（ＣＩＦ）で四一三ドルとなっており、インド産大豆粕は引続き大幅な高値圏にある。

ＴＯＫＹＯ　Ｘ平成二十八年度総会開催四号議案承認

TOKYO X-Association（会長＝㈱ミートコンパニオン植村光一郎常務取締役）は五月十日、午後三時より、東京都八王子市・京王プラザホテル八王子において、平成二十八年度総会を開催した。

平成二十八年度総会では、植村会長のあいさつ。清水孝治東京都議会議員と東京都産業労働局農林水産部松川　敦農業振興課長の来賓あいさつの後、議長に植村会長が選任され、議事が行われた。議事では、事務局より提出された①平成二十七年度事業報告、②平成二十八年度事業計画（案）及び収支予算（案）、③役員の改選、④規約の改定等―の一～四号議案について審議が行われ、原案通り承認された。

総会終了後、記念講演が行われた。講演は、日本獣医生命科学大学沖谷明紘名誉教授より、「食肉のおいしさについて」と題して行われた。

ＴＯＫＹＯ　Ｘ平成二十八年度事業計画骨子について

TOKYO X-Association は別項のように、平成二十八年度総会を開催し、平成二十八年度の事業計画を承認した。それによると、平成二十八年度事業計画の骨子は次の通りである。

①共同生産出荷に関する協議。②流通、販売等の検討及び実施。③枝肉目合わせ会の実施。④トレーサビリティー検討委員会会議の実行。⑤積極的認知活動の実施。⑥ＴＯＫＹＯ　Ｘを通しての食育事業参加。⑦ＴＯＫＹＯ　Ｘを通してのアグリネイチャー事業参加。⑧地産地消支援事業参加。⑨生産拡大委員会の実施。⑩農場ＨＡＣＣＰの研究会参加。⑪東京オリンピック対策協議委員会の実施。⑫インバウンド対応の情報発信と海外イベント事業参加。

ＴＯＫＹＯ　Ｘ会長に㈱ミートコンパニオン植村常務

TOKYO X-Association は別項のように開催した、平成二十八年度総会において、役員の改選を行った。それにより改選された役員は次の通りである。（敬称略）

◎会長＝植村光一郎・㈱ミートコンパニオン常務取締役。

◎副会長・監事＝道下泰治・㈱三越伊勢丹フードサービス外販統括部外販部水産・畜産事業部長。

◎理事＝▽川原昭広・（合）西友ローマテリアルソーシングダイレクター。▽北村陽三・㈱セントラルフーズ生産統括部原料部部長。▽小林和人・㈱大多摩ハム小林商会代表取締役社長。▽佐藤進一・㈱京王プラザホテル八王子事業部総料理長。▽中村敏章・㈱人形町今半精肉惣菜部副部長。

◎幹事・書記長＝小石伸市・㈱ミートコンパニオン執行役員ミートパッカー部部長兼務。

◎幹事・書記＝小石隆二・㈱ミートコンパニオンミートパッカー部製造課課長。

◎幹事・書記・事務局＝小林直樹・㈱ミートコンパニオンミートパッカー部課長代理。